

<p>東京都森林組合ニュース</p> <h1>杣のみち</h1> <p>そま</p>	<p>JForest 東京都森林組合</p> <p>〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町平井2759 TEL: 042-588-7963 FAX: 042-597-5263 info@tokyo-sinrin.com https://www.tokyo-sinrin.com 発行人: 木村康雄 発行所: 東京都森林組合 発行日: 令和7年1月 印刷所: 株式会社アートプレス</p>	<p>第 67 号</p>
--	--	------------------------------

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
 当組合は持続可能な開発目標(SDGs)に取り組んでいます。



山梨県富士川町高下 (たかおり)

令和7年 年頭ご挨拶

代表理事 木村 康雄
 組合長



謹んで新年のお慶びを申し上げます。
 日頃より組合員の皆様並びに関係各位におかれましては、当組合の業務運営につきまして特段のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
 昨年は、元旦早々に震度7を記録する「能登半島地震」が発生し、その後、集中豪雨等により全国各地での災害が多岐となりました。
 とりわけ、「能登半島地震」による復興・復旧の最中に豪雨災害により更なる被害が重なる状況となりました。被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興・復旧をご祈念申し上げます。

一方、昨年の4月から森林環境税の徴収がスタートしました。併せて森林環境譲与税の配分の見直しも実施され、森林を抱えている山間地域の自治体に多く配分されることとなりましたが、従前以上に森林に対する国民の目が厳しくなってくるものと考えられます。各組合員の皆様には森林整備等に当たって、特段のご協力をお願い申し上げます。

また、本年は、国連決議に基づく「国際協同組合年」にあたります。平成24年に続き2度目となる宣言となり、現在、他の協同組合系統と連携を図りながら具体的な対応策についての協議がスタートいたしました。

さて、当組合では、組合員皆様との信頼関係をより一層強固なものにしつつ地域の特性を生かした森林整備を行い、加えて、少子高齢化などの問題にも対処しうる経営基盤の強化を図るために、全国の森林組合系統運動に呼応して、5か年に亘る第四次中期経営計画「ACTIVE-50」（令和3年度から令和7年度）を策定し、様々な課題の達成に向け、役職員が一丸となって取り組んでおります。特に令和7年度は、第四次中期経営計画（ACTIVE-50）の最終年度を迎えており、次期中期経営計画の策定に向けての礎を構築する年にする所存であります。

また、年々進む地球温暖化や地震、豪雨等の気象リスクを回避する為にも、事業継続計画（BCP）の再構築をはじめ、国の様々な労働施策に対応する意識醸成を行い、日々のKY（危険予知）を確実に励行した「**安全第一**」を旨とした施業や業務の効率化に向けて、無駄を省き、「**経費の削減**」に努め、組合員皆様への負託に応えるための森林組合としての存在意識の発揚に向けて、組合運営に邁進してまいり所存でありますので、引き続きご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が組合員皆様並びに関係各位の皆様方にとって幸多き素晴らしい年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

令和7年 年頭御挨拶

全国森林組合連合会
代表理事長

中崎 和久



年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、弊会の業務運営につきまして格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、年初の「能登半島地震」に始まり、8月には日向灘で発生した地震により、はじめて「南海トラフ巨大地震注意」が発表される等、地震が相次いだ年でありました。震災以外にも集中豪雨等、全国各地で災害が頻発しており、被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げます。弊会といたしましても、政府に所要の要請を行うと共に、今こそ「緑の国土強靱化」による防災・減災への取組を強化して参らなければならないと考えております。

さて、政府においては花粉症対策として花粉の少ない森林への転換促進対策が推し進められており、森林組合系統はその担い手として事業に取り組んでいるところです。森林組合系統運動「JForestビジョン2030」においても、「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業の確立を掲げ、系統全体で主伐再造林に取り組むこととしており、花粉発生源対策の取組と合わせて引き続き推進していく所存です。

一方、昨今の少子高齢化等の影響を受け、森林整備等を担う人材の確保が全国的な課題となっております。弊会では、これまで林野庁補助事業「緑の雇用」事業の実施主体として、全国の森林組合をはじめとした林業経営体の人材確保・育成を支援して参りました。加えて、弊会が事務局を務める一般社団法人林業技能向上センターでは、林業の現場技能者の技能向上による人材育成を図り、労働安全の確保、林業労働者の処遇改善や人材確保に資することを目的として、林業における技能検定制度の構築に取り組んできたところ、昨年8月に職業能力開発促進法施行規則等が改正され、技能検定制度職種に林業が追加されるとともに、技能検定制度試験が始動いたしました。

また、昨年9月にオーストラリアで行われた世界伐木チャンピオンシップ（WLC）では、初めて日本人選手が総合でメダルを獲得するという嬉しいニュースがありました。今年も弊会が中心となり、第6回日本伐木チャンピオンシップ（JLC）の開催を予定しており、多くの選手が切磋琢磨し、更なる現場技能者の技術や地位の向上、安全対策の推進に資することを期待しております。

本年2025年は、国連決議に基づく「国際協同組合年」です。これは、2012年から二度目の宣言となり、SDGsの達成に向けた協同組合の取組が世界に認められた証であります。我々協同組合はこの期待に応えるべく、一層、SDGsの達成やカーボンニュートラル社会の実現等、社会課題の解決に向けた取組を「実践」し、広く「発信」して参らなければなりません。本年の「IYC2025国際協同組合年」を契機とし、森林組合系統の活動に対する社会の認知を高めるとともに、森林組合系統の更なる発展と「JForestビジョン2030」の実現を目指して参りましょう。

今後も、弊会では系統関係者及び関連団体とともに、人材の確保・育成、森林資源の循環利用、国産材利用促進等に向け、役職員一同精進する所存です。倍日の御指導、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって幸多き一年となりますよう祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。

令和6年度JForest全国森林組合代表者大会出席及び表彰

令和6年度JForest全国森林組合代表者大会が10月16日に銀座プロッサム中央会館ホールにおきまして開催され、当組合から木村組合長、内山理事、大野森づくり推進部長、春原部長代理、林田部長代理が出席し、本大会におきまして令和7年度林業政策・予算に関する要望が決議されました。

なお、決議された要望書につきましては、衆議院議員選挙後の11月15日に衆議院議員5名、参議院議員7名に郵送しました。

また、功労者表彰（永年勤続）の単位組合職員部門で春原部長代理が、現場技能者部門で林田部長代理が表彰されました。

法務税務相談会を開催いたしました

組合員の皆様を対象とした法務・税務相談会を「柚のみち」等で周知させていただき、本年は令和6年12月5日に当組合本所（日の出町）におきまして開催いたしました。

法務相談につきましては、昨年に引き続き当組合の顧問弁護士・波多野曜子先生をお招きし、山林に関する相談についてご対応いただきました。

今後も組合員皆様にご利用いただける法務・税務相談会として、不動産登記法改正に伴う相談に加えて、相続や山林所有に伴う課題等ご要望に沿ったご相談会を開催してまいります。



相談会の様子

第60回 全国林材業労働災害防止大会 出席及び表彰

第60回全国林材業労働災害防止大会が、令和6年10月24日、和歌山県和歌山城ホールにおきまして開催されました。

本大会は、林業・木材製造業の労働安全衛生に対する意識を高め、労働災害撲滅への決意を新たにすることを目的に、大会の式典や特別講演、更に協会の活動等の紹介が行われるものです。

また、同会場におきまして、永年にわたる労働災害防止活動と、当該地域又は関係事業場の安全衛生水準の向上に功績のあった者の表彰も行われ、当組合の齋藤専務理事が「林災防会長表彰（功績賞）」を受賞しました。



表彰状

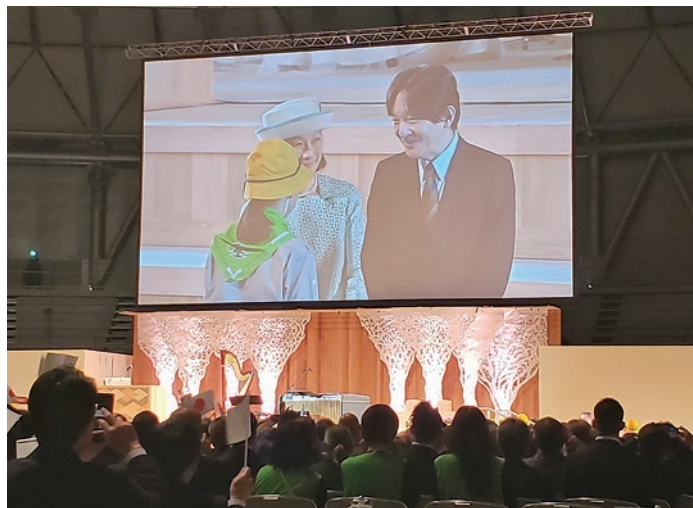
全国育樹祭

第47回全国育樹祭が秋篠宮皇嗣同妃両殿下をお迎えし、令和6年10月20日福井県越前市瓜生町にあるサンドーム福井におきまして盛大に開催され、当組合から木村組合長、浜中理事、外川次長、宇田調査役の4名が参加いたしました。

本育樹祭では、能登半島地震による犠牲者への黙祷、福井県の名所、文化、伝統製法・技術（熊川葛の生産、オウレンという薬用植物の栽培、製炭技術）が大スクリーンの映像で紹介され、合わせて緑化等功労者への表彰が執り行われました。

開催された会場は、越前和紙を使った立体的な樹木の造形が美しい舞台セットの中オープニングでの大太鼓の響き、俳優の津田寛治さんと作家の今村翔吾さんのトークと福井県の魅力が映像で紹介され、様々な工夫が凝らされた華やかで見ごたえのある式典でした。

多くの組織、自治体、民間企業の連携により本育樹祭が実施されていることが伝わるなど、それぞれが協力しながら国土緑化推進のために尽力しているのだと感じることができました。



イベントレポート

秋の産業祭

「〇〇の秋」といえばなにを思いつきますか？
食欲の秋、読書の秋…、当組合ではイベントの秋！

昨秋は産業祭の他、新規のイベントにも参加しました。林業や木材利用の重要性が改めて注目され、PRする機会が増えてきたことに喜びを感じます。



あきる野市産業祭



日の出町産業まつり

産業祭では、「とうきょうの木」で作られた木工品販売の他、日の出町産業まつり・あきる野市産業祭では恒例の木工クラフトを行い、前年度より多くのお客さんで賑わいをみせ、思い思いの作品を作る子どもたちの笑顔で溢れていました。

イベントレポート

豊市 ~TOYO-ICTI~

東京味わいフェスタ2024
TASTE of TOKYO

期間：令和6年10月25日～27日

会場：がすてなーにガスの科学館

都内4会場のうち、豊洲エリアは東京の農林水産をテーマとした「豊市～TOYO-ICTI～」が開催されました。



○森林の学校&ワークショップ

東京の森林・林業についてのお話やオリジナルデザインのヒノキの香袋を作るワークショップを開校。その名も「森林の学校」です。林業や木材を身近に学べる内容は保護者の方にも好評で、指にインクを滲ませながらも真剣に色を塗るお子さんの微笑ましい姿が見られました。



イベント名	開催場所
木と暮しのふれあい展	都立木場公園
東京の木 多摩産材 利用拡大フェア2024	新宿NSビル
東京農林水産フェア	東京都農林水産振興財団 立川庁舎
日の出町産業まつり	イオンモール日の出
奥多摩ふれあいまつり	奥多摩総合運動公園
東京味わいフェスタ2024	がすてなーにガスの科学館
青梅市産業観光まつり	青梅市役所
あきる野市産業祭	都立秋留台公園
ひのでマルシェ	ひので肝要の里
WOODコレクション (モクコレ) 2024 Plus	東京ビッグサイト 西1・2ホール



大久野中学校 林業体験

今年度も大久野中学校の2年生を対象とした林業体験を実施しました！

スギの木を1本伐倒し、その後、丸太のけん引や枝払い等、林内で行う作業の一部を実際に生徒さんに体験してもらいました。

朝早く、足場も不安定な中、笑顔の絶えないにぎやかな林業体験になったと思います。46名の生徒さん、寒い中本当にお疲れさまでした！

また、設備等ご協力いただいた「日の出町自然休養村さかな園」様、誠にありがとうございました。



けん引道具の力を体験している様子

○チェーンソー実演

木くずが舞い、空気が震える様子に圧倒される「チェーンソー実演」では、ひとたびエンジンを噴かすと、その音に誘われてギャラリーが続々と集結。

施業職員による解説・質問コーナーやなりきり写真撮影も大盛況でした。



○他にも楽しいプログラムがいっぱい！

他にも、小さなお子さんでも楽しめる積み木ひろばや、丸太切り体験、檜原産の薪と「とうきょうの木」を使った特製テーブルでお酒や食事を楽しむ焚き火ラウンジなど、木の良さを五感で楽しむ3日間となりました。



高性能林業機械-先進地視察で宮崎県へ

(公財) 東京都農林水産振興財団 (以下「財団」という。) が令和6年11月19日から22日の4日間にわたり宮崎県日向市において主催された、高性能林業機械現地視察及び研修に、当組合の林田部長代理、矢島調査役、白鳥の3名が参加しました。

現地視察・研修は、住友林業(株)日向森林事業所へ伺い、各種林業機械の使用状況や特徴などの説明をいただきました。

住友林業(株)は大正時代、宮崎県より山林開発の観奨を受けて九州における林業経営を始めたとされており、現在では宮崎県、熊本県、鹿児島県内に9,181haの社有林を管理している等林業関係では日本でも先進的な取り組みを行っています。

今回は、トラック搭載型タワーヤーダを活用した搬出現場を視察させていただき、当組合が財団より借受けているクローラー式タワーヤーダとの違いを学ぶことができました。



トラック搭載型タワーヤーダ

林道網の整備が進み、20tクラスの大型トラックやトレーラーが搬入可能だからこそ、宮崎県のスギの素材生産量が平成3年度以降33年連続日本1位という実績に繋がっていると思います。

また、今回の視察を通じて、行政や林業関連会社、素材生産業者等の連携の必要性を改めて感じました。宮崎県での取り組みを参考にし、東京都で実施している主伐事業を始め様々な施業等に反映させてまいります。



東京の木 多摩産材利用拡大フェア2024

主 催：(公財) 東京都農林水産振興財団

開 催 日：10月24日～25日

開催場所：新宿NSビル地下1階大ホール

本年も同会場で東京の木 多摩産材利用拡大フェアが開催され、当組合ブースでは、バスの停留所や駅のホームなどで、ちょっと一息をサポートする「アーバンベンチ」、現地で360度自由に方向を設定できる「サイン・360」、都内各所で好評の「木製横断抑止柵」、小池都知事にも座っていただいた「アールベンチ」など、「とうきょうの木」を有効活用した製品を展示し紹介しました。



多摩産材利用拡大フェア

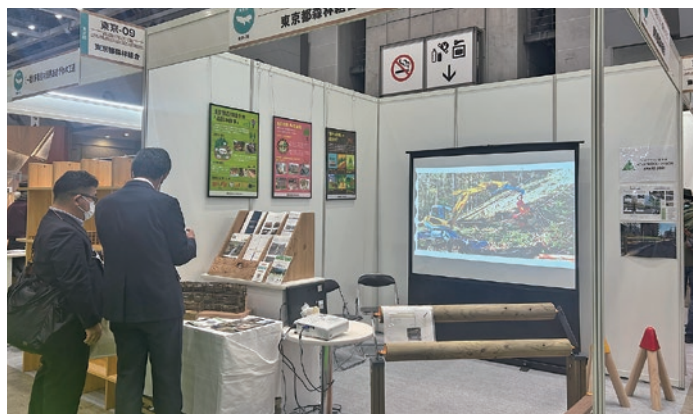
WOODコレクション (モクコレ) 2024 Plus

主 催：東京都、WOODコレクション実行委員会

開 催 日：12月19日～20日

開催場所：東京ビッグサイト西1・2ホール

東京都内を始め、全国からも実行委員会を通じて木材関係者が参加しWOODコレクション (モクコレ) 2024 Plusが開催されました。当組合も「アーバンベンチ」「サイン・360」などの木製品を展示するとともに、森林整備事業紹介の動画や納品した製品の画像などをプロジェクターで投影してご紹介しました。



WOODコレクション (モクコレ) 2024Plus

令和7年度小池東京都知事への林業関係予算要望

東京都知事に対する要望に伴い「各種団体からの予算に対するヒアリング」が東京都庁第一本庁舎7階大会議室において開催され、令和7年度東京都林業関係予算要望書を12月16日、小池東京都知事に対し提出いたしました。

当組合からは、木村組合長、山崎副組合長、小森総務管理部長、吉澤調査役が、また東京都治山林道協会柴田専務理事、東京都素材生産組合塩野会長、東京都林業研究グループ連絡協議会野島会長の計7名が出席し、木村組合長から「森林整備関連と林業・木材産業振興関連」等の12項目のうち、【森林整備関連】のツキノワグマ対策及び【林業・木材産業振興関連】の原木市場の機能強化対策へ



の推進及び「とうきょうの木」の利用拡大の強化の3点に絞ってその概要を説明し、知事並びに関係局より要望に対する意見等をいただきました。

～大好評!「タンクル椅子」のご紹介!～

「タンクル」とは根曲材とも呼ばれる、根元に近く、曲がって製材の妨げになる部分を切り落とし、そのまま林内に転がしておく「タンコロ（端ころ）」が由来だと言われています。

これまでの伐採現場では、その殆どが林地残材として産廃処分となっていました。十数年前から搬出が可能な現場においてはタンコロを搬出する取り組みが行われてきました。

当組合ではこれらを丁寧に磨き、切り株の雰囲気そのままに、年輪の美しい椅子に仕上げました。



タンコロ

大径のものは座卓にも座面高さがちょうどいいサイズで、存在感も抜群。

生活に木をプラスして、ホッとぬくもりを感じるひとときはいかがでしょうか？



加工された「タンクル椅子」

「タンクル椅子」

樹種：ヒノキ、スギ

注意事項：自然そのままの木材（無垢材）のため、空気中の水分量によって膨張・収縮し、割れが生じますが、製品の強度に問題はございません。

組合員の皆さまへ

【各種変更手続について】

「不動産登記法」の改正で、令和6年4月1日から相続により山林等の不動産を取得した場合は、3年以内に相続登記の申請が義務化されました。

不動産登記法の改正を踏まえ、次のような事例の場合、組合までご連絡をお願いいたします。

事例 1	組合員【名義人】が亡くなり相続が発生した
事例 2	組合への届出住所が転居により変更した
事例 3	売買等により所有山林の面積が増減した

変更届が提出されないと、組合からの重要なお知らせが届かなくなり、大切な所有山林の管理等に支障をきたす恐れがあります。

各種お問い合わせ先電話番号

購買品・組合員手続・森林保険・賦課金等
 総務管理部 ☎042-588-7963
 森林整備・森林経営計画・境界明確化等
 森づくり推進部 ☎042-503-1046
 木材加工品・ホームページ・本紙等
 総合企画部 ☎042-503-6586

2月～4月の組合関係行事（予定）

日付	行事	場所
2月17日(月)	木材利用部会	東京都森林組合 本所
3月 5日(水)	第6回理事会	東京都森林組合 本所
3月17日(月)	森林整備部会	東京都森林組合 本所
3月31日(月)	棚卸・現物監査	東京都森林組合 本所・各事業所
4月 1日(火)	令和7年度 事業進発式	東京都森林組合 本所・各事業所
4月17日(木)	経営管理部会	東京都森林組合 本所

原木市場だより 多摩木材センター協同組合（令和7年1月）

10月から12月にかけての市売実績は、秋に入り良材が出てきたため、平均単価は、1万2千円台を超えて下がりませんでした。特にスギは1万1千円台から1万3千円台のやや高値を維持しました。ヒノキも1万8千円から2万円台で高値となり、また、ヒノキの良材（柱材3m、16～18cm）の平均単価も2万円から2万7千円台の高値で推移しました。今後、1月から3月にかけて、良材が多く出てくるので、高値を維持できることを期待したいと思います。

（直近各月市売り実績）

	10月10日	10月25日	11月11日	11月25日	12月10日	12月25日
売上金額 (千円)	7,623	7,906	7,861	8,149	9,838	9,726
取扱量 (m ³)	581	613	596	528	786	758
平均単価 (円/m ³)	13,122	12,890	13,199	15,435	12,511	12,829

（直近各月市売りスギ・ヒノキの平均単価と取扱量）

	10月10日	10月25日	11月11日	11月25日	12月10日	12月25日
スギ (円/m ³)	12,280	11,977	11,381	13,093	10,208	11,420
取扱量 (m ³)	408	440	376	311	495	519
ヒノキ (円/m ³)	18,042	19,631	18,855	22,120	19,407	19,571
取扱量 (m ³)	132	116	177	173	226	167

（直近各月市売りのヒノキ3m良材、16・18cmの単価の推移 単位:円/m³）

10月10日	10月25日	11月11日	11月25日	12月10日	12月25日
20,509円	20,541円	21,803円	27,079円	26,229円	23,016円

編集後記

昨年は、当組合の役職員が様々な分野において表彰されております。

表彰されるまで様々な苦勞や努力があったことは、想像に難くありません。

あるジャーナリストは、「何の分野においてもプロになるためには10,000時間を費やす必要がある」と言っている記事を目にしたことがあります。

被表彰者の方々も多くの時間を費やし、功績が認められるに至ったと思うと敬服せずにはられません。

さて2025年は巳年です。古代エジプト人は蛇を生命の象徴として考えていたようです。

命は時間であり、限りあるものです。

冬至を過ぎましたが、まだまだ夜長です。一年の始まりの睦月の夜長に、10,000時間について考えてみるのも面白いのではないのでしょうか？

(K.H)